

目 次

1 調査の目的	
1.1 調査実施の背景	1-1
1.2 調査実施の目的	1-1
1.3 調査の流れ	1-2
2 お遍路及びモデル地域の現状調査	
2.1 交流人口の経年調査	2-1
2.1.1 四国の観光入込状況等	2-1
2.1.2 自然資源	2-10
2.1.3 人文資源	2-25
2.2 景観上の問題点の把握	2-43
2.2.1 自治体へのアンケート調査	2-43
2.2.2 取組み実態に関するヒアリング調査	2-53
2.2.3 モデル地域の現状把握	2-67
2.3 課題の整理	2-103
3 連携・協働による広域的な景観形成・保全の課題整理及び取組指針(案)の策定	
3.1 風景づくりの仕組みづくりにおける課題の類型化	3-1
3.2 多様な主体の役割分担と課題についての検討	3-3
3.2.1 検討方法	3-3
3.2.2 多様な主体の役割分担と課題に関するヒアリング	3-4
3.2.3 取組指針(案)の策定	3-54
4 取組指針(案)に基づくフォローアップの実施	
4.1 フォローアップ計画の作成	4-1
4.1.1 フォローアップ計画のねらい	4-1
4.1.2 フォローアップの考え方	4-1
4.1.3 フォローアップの実践	4-2
4.2 ケーススタディの実施	4-4
4.2.1 モデル地域におけるフォローアップ実施	4-4
4.2.2 高知県梶原町ししまる地区	4-5
4.2.3 徳島県三好市西祖谷地区	4-12
4.2.4 徳島県勝浦町地区	4-19
4.2.5 愛媛県松山市道後地区	4-26
4.3 普及浸透策の検討	4-32
4.3.1 自治体や地域団体等への浸透に向けた取組み	4-32
4.3.2 広域的な景観形成に向けた情報発信	4-40
5 本調査の結果と期待される効果	
5.1 本調査の結果	5-1
5.2 期待される効果	5-2